

Kenren No.76 Kanon

神奈川県
合唱連盟
機関・情報誌

2011年度 冬号

発行：2012.1.10

希望を持って歌い続けよう！

神奈川県合唱連盟 理事長 田中登志生



本年もよろしくお願い申し上げます。

昨年は、まさに激動の年であったと思います。2011年3月11日に発生した東日本大震災では多くの方々の尊い命が失われました。テレビの報道などを目にするたびに自然災害の恐ろしさを感じるとともに、被災された方々の心情を思うといっても立ってもいられない気持ちでした。

神奈川県連でも県連事務所の天井が剥がれ落ちるなどの被害を受けました。幸い室内にいた事務局員に怪我はありませんでした。しかし、その後も余震が続き、計画停電の実施や交通機関の混乱などもあり、3月以降に予定して

いた行事のうち3月13日のヴォーカルアンサンブルコンテストと4月2日のジュニア合唱祭は止む無く開催を取りやめました。出演に向けて準備してきた合唱団の皆さんや演奏を楽しみにしていたお客さまのことを思うとまさに断腸の思いでしたが、安全を第一に考えての中止決定でした。

また、各合唱団でも演奏会の延期や中止、練習もままならないなど様々な影響があったかと思います。

様々な困難な状況をみなさんの「歌いたい」という気持ちが支え、徐々に各地で合唱活動が再開されていきました。

県連でも4月の総会以降は予定していた行事を行うことができました。また被災地支援のために実施した募金活動にも多くの方々にご協力いただき、誠にありがとうございました。

そして、震災から約10ヶ月が過ぎ、今、自分の周りに歌があり、仲間がいるという今までは当然と思っていたことにあらためて感謝し、生きていること、歌えることの喜びを胸に今後も歌い続けたいと思います。

わたしたちができることは、ほんの小さなことかも知れませんが、希望を持って歌い続けることが世の中を明るくし、復興につながることを確信しています。

第66回 関東合唱コンクール（大学・職場・一般部門） 開催結果報告

関東合唱コンクール実行委員会 副実行委員長 室井義広

2011年10月2日（日）、よこすか芸術劇場において第66回関東合唱コンクール（大学部門、職場部門、一般部門）が全日本合唱連盟関東支部・朝日新聞社主催、神奈川県合唱連盟の主管で開催され、関東甲信越静各県の代表38団体が全国大会への出場を目指して歌声を競いました。

詳細な結果は下記のとおりですが、本県から出場した富士通川崎合唱団、マルベリー・チェンバークワイア、マルベリー・クワイア、小田原少年少女合唱隊の4団体が全国大会に推薦されました。大学、職場、一般部門からは全部で8団体が全国出場を決めました。その半数の4団体が神奈川県代表であったことは嬉しいかぎりです。

また、9月24日～25日に群馬県で開催された中学校部門・高等学校部門と合わせた関東合唱コンクールの全日本理事長賞が星野高等学校音楽部（埼玉）に贈られました。



会場前の看板で本番の雰囲気も高まります



オペラ劇場風の豪華な客席

当日は、県連加盟の高校や一般団体からのボランティアスタッフと県連理事合わせて100名を超えるスタッフにより運営されました。よこすか芸術劇場は客席が1～5階まであり、リハーサル室は地下2階、更衣室は別棟の小ホールと分かれており、参加者、来場者にとっては分かりにくい構造であったと思いますが、各部署スタッフのご協力により無事に開催することができました。ご協力ありがとうございました。

なお、当日の審査結果は以下のとおりです（表記は各賞とも出演順、★は全国大会推薦団体）。

◆審査員（50音順）◆

雨森文也、金川明裕、清水敬一、松原千振、渡辺三郎

<大学部門>

【金賞】新潟大学合唱団（新潟）★、新大室内合唱団（新潟）都留文科大学合唱団（山梨）★

【銀賞】Chiba college Ladies' chor mille foglie（千葉）、静岡大学混声合唱団（静岡）

【銅賞】埼玉大学合唱団（埼玉）、共愛学園前橋国際大学合唱団 Manna（群馬）、静岡県立大学コーラス部（静岡）

<職場部門>

【銀賞】富士通川崎合唱団（神奈川）★

<一般部門Aグループ>

【金賞】マルベリー・チェンバークワイア（神奈川）★、マルベリー・クワイア（神奈川）★

VOCE ARMONICA（千葉）★、S. C. Gioia（山梨）★

【銀賞】明野少年少女合唱団（山梨）、混声合唱団ルックスエテルナ（栃木）、Luna Voce（千葉）

レディーस्कワイヤ June（新潟）、新潟フィルハーモニーレディースアンサンブル（新潟）

千葉室内合唱団 Vox Aeterna（千葉）、Chœur Vent Vert（埼玉）、かながわフリーダム・シンガーズ（神奈川）

La Pura Fuente（神奈川）、Collegium Cantorum YOKOHAMA（神奈川）

【銅賞】合唱団 amore（埼玉）、コール・ヴィステリー（茨城）、ヴォア・ヴェール（静岡）、コルス・フローレス（群馬）

<一般部門Bグループ>

【金賞】湘南はまゆう（神奈川）、小田原少年少女合唱隊（神奈川）★、La Mer（埼玉）、浜松合唱団（静岡）

【銀賞】Vive la Compagnie（埼玉）、Wings（埼玉）

【銅賞】合唱団ノア（千葉）、富士吉田市民合唱団（山梨）、室内合唱団 音（栃木）、静岡合唱団（静岡）
緑フラウエンコール（神奈川）

【全日本理事長賞】星野高等学校音楽部（埼玉）



熱演を繰り広げる神奈川県代表団体



会場名物の舞台裏大型エレベーター



裏方の皆さんお疲れさまでした



表彰式の様子



義援金へのご協力に感謝

第46回クリスマス音楽会「メサイア」演奏会

メサイア実行委員会 実行委員長 飛永悠佑輝

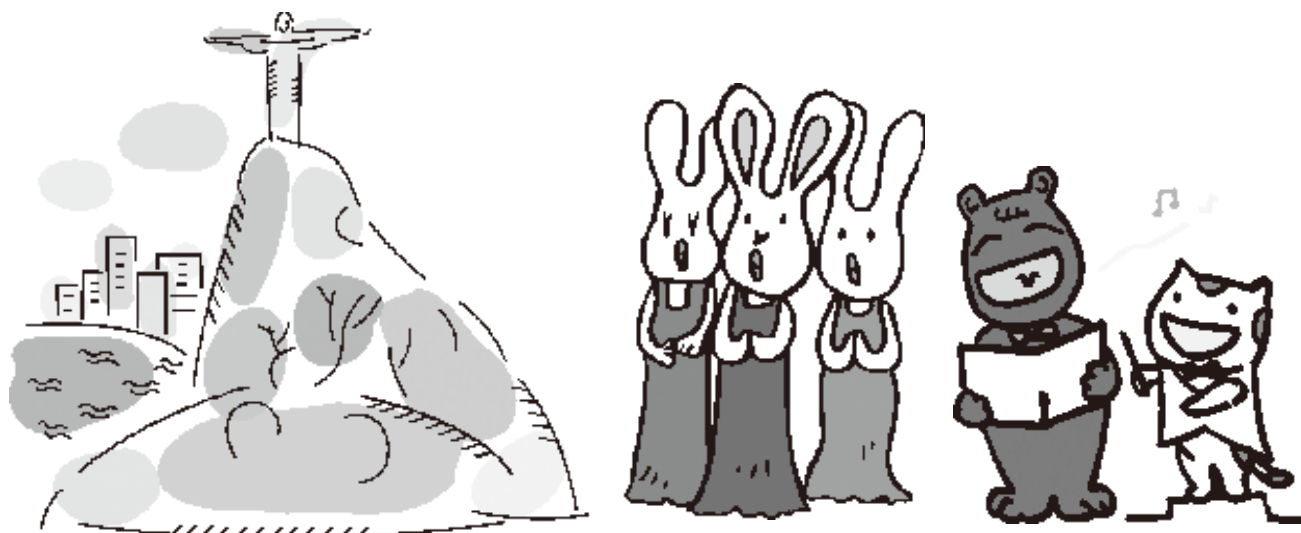
年末恒例のメサイア演奏会が12月11日(日)に県立音楽堂で開かれました。

今回も小泉ひろし先生指揮、神奈川フィルハーモニー、ソリストにはソプラノ市原愛、カウンターテナー上杉清仁、テノール中嶋克彦、バリトン加来徹、チェンバロ長久真実子、オルガン宇内千春(敬称略)という豪華な顔触れでの演奏会となりました。

合唱の人数はソプラノ61名、アルト51名、テナー21名、バス30名の合計163名とやや少なめでしたが、今回は音楽堂『メサイア』未来プロジェクトの一環で生田高校グリークラブの20名がハレルヤと終曲のアーメンコーラスに参加をしました。この企画はこのメサイア公演が5年後に50回を迎えることを機に『若い世代の参加と合唱を生きがいとする中高年との交流を促進し、次の世代へ合唱を通じた音楽活動の豊かさを継承する』という理念から、今後5年間毎年違う高校を選んでこのように参加して貰おうというものです。高校生の指導には田中理事長が学校に何回も出向き、また当日もリハーサル室で特訓をするなど、とても熱心に練習をしてきました。その甲斐あって、非常に華やかなハレルヤコーラス、終曲を演奏することが出来たと思います。

この演奏会に向けては練習5回と、ゲネプロ、本番、すべて小泉先生に指導をして頂きました。とても丁寧に曲の内容をどうやったら表現できるか、言葉の扱い方を特に何度もご指導受けました。しかし直前まで声が揃わない、あまり練習に出てきていない人が乱しているなど指摘をされ、心配をしましたが、本番は歌っている側も手ごたえを感じるほどとても澄んだ響きになって、第一部の後休憩時間には「今回はいいよね」という声が控室のあちらこちらから聞こえてきました。第2部以降もこれを何とか壊さないように皆が集中をしていたように思います。そしてハレルヤコーラスでは本当に気持ち良く若い人たちと声を合わせることが出来ましたし、鬼門の37番 Let us break their bonds asunder も先生が「これは大丈夫だね」と仰っていたように、すんなりと上手くいったように思いました。

合唱の皆さん、オーケストラ、ソリストの方々も気持ち良く帰路につけたことと思います。沢山の皆さんにこの素晴らしい体験をして頂きたいと思います。いつからでも遅くはありません、ぜひ来年はエントリーしてみてください。



★新装開店第2弾★



副理事長のつづやき



【第5回】“I believe in future” 信じてる



松村 努

カノンが送る
好評連載シリーズ！
前回から松村副理事長
にバトンタッチして
皆さんにお届けします

すれ違いざまの笑顔、どの子ども大声で挨拶をして、訪れた私たちの横をすり抜けていく。目がきらきらして、今にも話しかけてきて取り囲まれそう。圧倒されるほどの活気。

ここ仙台市若林区の沖野小学校は、3月11日すぐ近くまで迫っていた津波を一本の道路がせき止め、被害を免れた。児童生徒は全員無事だったが、両親、親族、大切な人を亡くした子供たちも少なくない。ほんの数ヶ月前に、生きるか死ぬかの恐怖を味わった子供たちが今、力強い生命力に溢れ、私たちの前にいる。

晩秋の一日、青森での全国大会を終えた私たちは、縁あって、合唱団員とともに復興応援コンサートを開かせていただくために、沖野小学校を訪れていた。ふるさと、翼をください、ドレミの歌、エーデルワイス、全ての山に登れ、子供たちは、どの歌にも食い入るような眼差しで聴き入り、そして最後に一緒に歌った校歌、Believe。体育館は熱気に包まれ、笑顔が溢れた。本当に元気な明るい歌声だった。子供たちの屈託のない笑顔・・・それがとても辛かった。私たちは、今までこの子供たちのために何をしてきたのだろう。

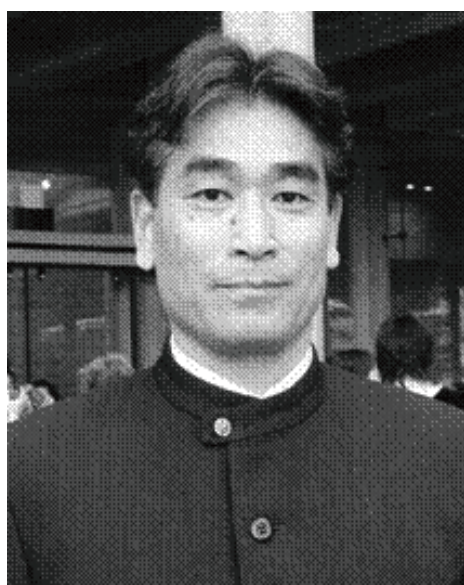
子供たちに見送られ、学校を後にした私たちは、仙台駅に向かう車に頼み、被災地を案内してもらった。「物見遊山の観光気分のお客は断っている。でもね、皆さんには、見てもらいたい。」という運転手の言葉が重く響く。



熱心に指揮・指導をする松村副理事長

数分も走らないうちに、目の前に荒涼たる広大な土地が広がった。どこまでも見渡せる、全てが津波によって失われた、まるで異次元の広がり・・・原型を留めないガソリンスタンド、ガラスのない学校、病院。崩れた幾つかの建物、そして残された無数の民家の土台、背の高い松の木だけが残る海岸線。走っている間、頭の中でずっとあの元気な子供たちの “I believe in future” 信じてる の歌声が鳴り続けていた。

復興は始まったばかり。私たちはこの子供たちのことを、歌声を忘れてはいけない。



2010年全日本合唱コンクール会場
(兵庫県)での松村副理事長

第17回ヴィサン《人生百歳》ジョイントコーラスフェスティバルinよこはま ～日野原重明先生をお迎えして～

ヴィサン実行委員会 実行委員長 杉山範雄

平成23年11月17日(木)に横浜みなとみらいホール・大ホールにて、『第17回ヴィサン《人生百歳》ジョイントコーラスフェスティバルinよこはま』が開催されました。

今回で2回目の実行委員長のお仕事、若干？経験を積んだつもりが、改善すべきところや、慎重を期さなくてはならない事等、理事の先生方からアドバイスやお叱りをたくさん頂き(汗)、組み立てさせていただきました。シニア、婦人、一般、個人部会で構成されるヴィサン実行委員、今回レベルアップしたところは実行委員会議の出席率の良さ！毎回ほぼ全員出席で、その甲斐あって今回のフェスティバルでは実行委員全員が良く動けて、一人ひとりが内容を理解し、正しく機能しました。

『相鉄線が遅延！！』朝8:30、ホールとの最終打ち合わせ中に飛び込んだいきなりのトラブル。集合に間に合わない団体が続出する中、各部署が迅速に対応し、開催が危ぶまれたAブロックも何とか時間通りに始めることが出来ました。勿論完璧には程遠いですが、前回より成長した結果のように思いました。効率も必要ですが、やはり地道な積み重ねが大切なのだと実感いたしました。

さて今回のフェスティバルですが41団体もの合唱団が参加して下さい、県連加盟30団体、非加盟11団体(県外：東京都、千葉県浦安市、岐阜県高山市)・延べ1255名が集まりました。講師には、声楽家の栗林朋子先生、作曲家のなかにしあかね先生をお招きし、フェスティバルに花を添えて頂きました。

Aブロック14団体、Bブロック14団体、Cブロック13団体、どのブロックもすばらしい演奏は勿論、華やかな衣装、パフォーマンスなど、趣向を凝らしたステージはいつもながら圧巻でした。各ブロックの全体合唱『歌があるから』『朝の光に』にて、田中登志生理事長、平井保副理事長に指揮をお願いし、ピアノ伴奏に篠田早苗さん、南部麻里さんにお力添えを頂きました。因みに、合唱の補助として急遽、私も全ブロック、マイクで歌わせて頂きました。



舞台裏の様子



実行委員の皆さん



ゲスト日野原先生と田中理事長
および実行委員長

今回は、特別ゲストとして今年100歳を迎えられた現役のお医者様、日野原重明先生をお招きすることが出来、日野原先生の合唱団で指揮をされている桑原妙子先生も急遽トークに参加して下さい、大変貴重で楽しいお話を頂戴いたしました。今回新たな試みで各ブロックの最後に設けた『お楽しみ抽選会』も大いに盛り上がり、けが人もなく、おかげさまでほぼタイムテーブル通り進行することが出来ました。10時間ぶっ続けで働いてくださった54名のスタッフと、ヴィサンを支えてくださった多くの方々に、厚く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

『全国に響け！県代表合唱団』 密着取材～JCAコンクール全国大会

◎中学校・高等学校部門(10月29日, 30日)
府中の森芸術劇場どりーむホール(東京都)
◎大学・職場・一般部門(11月19日, 20日)
青森市文化会館大ホール(青森県)

昨年秋、全日本合唱連盟(JCA)が主催する第64回全日本合唱コンクール全国大会が開催されました。神奈川県からは全5団体が出場し、全国から集まった有力団体との華やかな競演を繰り広げました。

ここ数年行っている現地取材と個別取材を織り交ぜて、その様子をお届けします。

■会場を包み込む温かい歌声

神奈川県勢の第一陣を切ったのは10月30日に開催された中学校部門(同声合唱の部)に出場した清泉女学院中学校音楽部です。参加者は46名。2027席を擁するどりーむホールに挑むには少々人数が少ないかと思われましたが、そのような心配は全くの杞憂でした。



会場の府中の森芸術劇場

この日、本番で歌った曲は以下の2曲です。
『Pange lingua』作曲：O・ジョルジ
無伴奏同声合唱のための「三つのマリア聖歌」から
『Ave Regina Caelorum』作曲：鈴木輝昭

出演順4番目ということで、会場自体がまだ温まっておらず、会場の人数も7割程度の入りだったでしょうか。環境は万全の状態ではなかったですが、そのような中でも集中力を発揮し、先生と生徒たちが一体となった素晴らしい演奏でした。

とにかく驚いたのはその豊かな声量です。一般的な合唱団では比較的声量豊かで上手に歌える人を前列に持ってきて演奏を聴かせることが多いのですが、この団体は後列からもしっかりとした歌声が聴こえ、それにより会場中にしっかりと厚みのある歌声が広がっていました。

きりっとした立ち姿も素晴らしく、そこから紡ぎだされる言の葉の明確さと各パート間のバランスの良さは曲に立体感を与え、豊かな倍音とともに会場中に合唱の素晴らしさ、美しさを伝えていました。

2曲目の『Ave Regina Caelorum』はしっとりやわらかな表現で始まり、会場中を包み込んでいました。多くの団体では演奏時間の最後のほうになると、演奏にも疲れが見えて音程も気になってくるものですが、そんな心配は全くの無用とばかりに、最後まで美しい和音を響かせ、演奏を締めくくりました。



演奏終了後写真撮影に臨んで

演奏終了後、顧問で指揮者の佐藤先生にこの日の印象などをお伺いしました。

～本日の演奏の印象をお聞かせ下さい～

「今日は世界中の人に、聖母マリアの幸せの光が降り注ぐようにという気持ちを込めて歌いました。」

～今回の選曲のポイントを教えてください～

「今年は大震災のことがありましたので、『祈り』を歌い続けようと、定期演奏会から宗教曲中心で進めてきました。その中で、コンクールではアクロバティックな『Pange lingua』と、鈴木先生の現代音楽とグレゴリオ聖歌を融合させた『Ave Regina Caelorum』という趣の異なる2曲を選曲しました。」



演奏後満面の笑みを見せる佐藤先生

今回の東日本大震災は私たち神奈川県合唱団体にも大なり小なり影響を与えました。それを心に刻みながら、また来年も心に響く熱い演奏を聴くことを楽しみにしています。

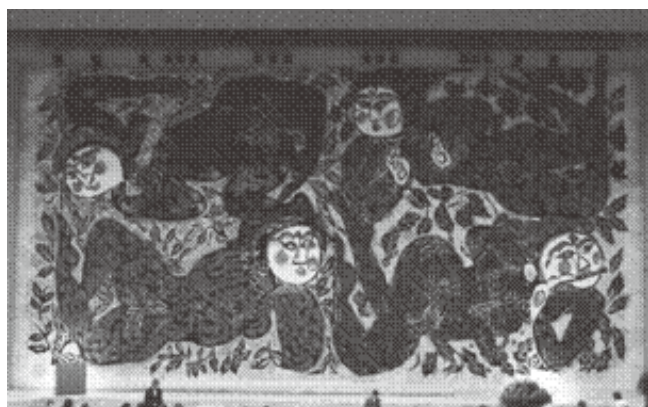
(金賞受賞)

■最北の大地を豊かな音楽性で魅了

11月も末の青森はやはり寒さが厳しいのか…と、気持ちを引き締めて乗り込んでみると、雨にはたたられたものの、この日は東京とほぼ同じ程度の気温。意外な暖かさにはほっと一安心です。

会場である青森市文化会館は駅からバスで15分程度の距離にあり、地域文化の拠点として堂々としたゆとりのある建物。青森県合唱連盟の皆さんも私たちを暖かく迎え入れてくれました。

このホールで一番感心したのは、棟方志功の下絵による、生命感あふれる四人の人物が織りなす力強さあふれる^{どんちよう}緞帳でしょう。コンクールの休み時間や審査までの待機時間に緞帳が下されるのですが、その絵の持つ力強さには圧倒されました。



青森市文化会館の素晴らしい緞帳

さて、この素晴らしいホールでこの日、神奈川県勢の代表として美しい演奏を披露したのは、一般部門Aグループ代表のマルベリー・チェンバークワイアとマルベリー・クワイアの両団体です。共に桑原妙子先生指揮の下、小田原青少年少女合唱隊の元メンバーが中心となり活発に演奏活動を続けている団体です。

最初に出場したのはマルベリー・チェンバークワイア。課題曲G1『O quam gloriosum』では、速めのテンポ設定で音楽を前に進ませます。それでいてゆとりを感じさせるフレーズのつくりは、会場中をマルベリーワールドに塗り替えていくような雰囲気^{どんちよう}が醸し出されていました。思わず聴き惚れていると、いつの間にか自由曲が始まりました。



演奏終了後写真撮影に臨む
マルベリーチェンバークワイア

自由曲の『We Beheld Once Again the Star』では、一転してゆったりとした流れを作りながら、中間部で盛り上がりを作り、また静かに終わっていくという立体感を持った曲想で、会場中が聴き惚れていました。

その後、この日演奏のトリを飾ったのがマルベリー・クワイアです。17名全員が小田原青少年少女合唱隊のOGで構成された女声コーラスで、コンクール全国大会ではすっかり常連となりました。

課題曲はF1『Lascia Filli mia cara』。透明感のある音質で、特にアルトパートの下支えが効果的。低音側の下支えがあることで、安定した良い演奏となっていました。しっかりとしたリズム感と落ち着いた声色は聴衆を安心させる雰囲気を持っています。

一転して自由曲では特徴的な雰囲気を色濃くつくり、聴衆を飽きさせない演奏を披露していました。曲は『日の出』『ゲーム』『ほうき』の3曲で、いずれも個性的な曲です。

『日の出』は原始的な雰囲気を醸し出し、一気にこの合唱団が紡ぎだす世界に引き込まれていきます。

『ゲーム』では昔のテレビゲームを思わせるような不思議な雰囲気を持った曲で、音楽による遊びをうまく表現していたように思われました。ただ、若干個人毎の音の伸びに差を感じる部分もあり、このあたりが審査員の判断に影響したのかもしれませんが。

最後に演奏した『ほうき』は早口のロシア民謡。小品ではありますが、大変よく盛り上がる曲です。

演奏が終わった時、会場の雰囲気も盛り上がり、マルベリー・クワイアの演奏を好感を持って迎えていました。



写真撮影時のマルベリー・クワイアの皆さん

両団体の演奏終了後、指揮者の桑原先生にお話を伺いました。

～マルベリー・チェンバークワイアの本日の演奏
についてお聞かせ下さい～

「ちょうどタイミングが、地獄のようなところからやっと光がみえたということで、今の日本の状況を映すような印象と重なるこの曲を歌おうと決めて、本日演奏しました。この自由曲はダンテの神曲からということで、元々震災前に決めていたのですが、震災を受けて更に強く思いが深まりました。当たり前で歌える状況が本当に大切だと強く意識しました。」

～マルベリー・クワイアの演奏はどうでしたか～

「コンクール演奏の一日の終わりということで、皆さんが喜んで下さればと思いました。会場の皆さんに演奏を楽しんでいただけたのであればよかったです」



桑原先生

関東代表として毎年素敵な演奏を披露する両団体ですが、来年以降も更なる飛躍を楽しみにしています。

(マルバリ・チェンバー・ワイツ：金賞[日本放送協会賞]受賞)

(マルバリ・ワイツ：銀賞受賞)

■日々成長を続ける関東職場の星

翌20日。雨は降り続き、徐々に寒さを増してくる青森の空の下、富士通川崎合唱団の一行は会場に向かいました。全国大会出場は今年で6年連続となります。

この記事を書いている私もこの団体の一員であるため自分達の演奏を聴く

ことはできませんでしたが、29名の団員が力を尽くして演奏したことは県内合唱団の皆さんに胸を張って報告することができます。



富士通川崎合唱団

演奏終了後、合唱団の広報を務める駒澤由佳さんにお話を伺いました。

「まず、前日に青森駅に下り立った時、『ようこそ青森へ！全日本合唱コンクール 大学・職場・一般部門』という歓迎看板を見て大変うれしく、ようやくここまで来た！という実感がふつふつと沸いてきました。特に本番当日に見た、大きな虹が印象的です。」

「私たちの団は、昨年からは人数も増え、日々の練習方法やその後のフォローなど、格段に『上手になろう』という意識が高まっていました。ラテン語の詩の内容や曲の解釈も念入りに皆で共有し、イメージはばっちり！でした。それぞれが最高の力を出し切る演奏ができたと感じています。すべてはこの時のための7ヵ月間の練習だったと思うと、曲が愛おしくなってしまう、言葉にならない感動がありました。」

更に、指揮者の加藤雅子先生にもお話を伺いました。

～今回の演奏の印象をお聞かせ下さい～

「課題曲をはじめとして、明るくよこびに満ち溢れた曲を選曲しました。技術的にまだまだ勉強する点

は多々あるとは思いますが、団員が一丸となって力強く歓喜にあふれた演奏をしたい、という気持ちを強く表現することができたというところが最も良かったことだと思います。職場の合唱団として、神奈川の代表として胸を張れるような演奏を目指して、団員のみなさんと富士通らしい音楽作りに取り組んでいます。少しでもその成果をお聞かせできたのであれば、大変嬉しいと思います。」



加藤先生

私の自宅には2006年に初めて出場した全国大会のパネルが飾ってあります。当時の歌い手は16名でしたが、この6年間で29名を数えるまでになりました。職場部門は来年で最後を迎えますが、有終の美を飾れるよう、心に残る演奏を目指して頑張ります。

(銅賞受賞)

■楽しく透明感のある演奏で聴衆を魅了

神奈川県勢のトリを飾ったのは皆さんご存じの小田原少年少女合唱隊です。コンクールの場ではすっかりおなじみとなった手作りの衣装を着て、会場の雰囲気も一気に華やかさを増しました。

課題曲はF1

『Lascia Filli mia cara』。透明感のある素晴らしい声と抜群の安定感を誇る音程。男子が入っているためか、アルトに安定感を感じます。

自由曲はチェコ民

謡、スウェーデン民謡、ブルガリア民謡の3曲。言葉がよく飛んできます。演奏でのまとまりのよさはこの団体の一番の持ち味。楽しく温かい印象でこの日の演奏を締めくくりました。

指揮者の桑原先生からは「今回の自由曲3曲は、それぞれ各国で交流のあった合唱団から曲をいただいたものです。子供たちは大人とは演奏スタイルが違うので、とにかく楽しく歌うことを目標に演奏しました。」とコメントをいただきました。



笑顔が素敵な小田原少年少女合唱隊の皆さん

来年も楽しく明るい歌声を楽しみにしています。

(銅賞受賞)

【記事・写真 カノン担当：栗林】

★連載★



コール・キリエ団長日記 ～親分はつらいよ～

【第5回】 幸せのお裾分け



鈴木 行

カノンが送る
好評連載！
コンクールの親分が
本音トークで迫ります

先日、私の所属している合唱団のメンバーの結婚披露パーティーがありました。私は新婦側からお招きを受けたのですが、ナント！！合唱団全員ご招待という合唱団としては何とも嬉しいパーティーでありました。私も齡（よわい）39を数え、披露宴には何度もお招き頂いておりますが、こればかりは何度出席してもイイものですねえ。

さてそのパーティーですが、新郎新婦の入場に始まって、2人の紹介スライドショー・ケーキ入刀・両家代表の祝辞・余興と続いた訳ですが、新婦にとって我が合唱団は「いつも温かく迎えてくれて元気をくれるホーム」なので、スピーチは団長にしかお願いできません」ということで、新婦側代表として私が祝辞を述べさせて頂きました。お祝いスピーチも何度か務めておりますが、これまた何度やっても緊張するものですねえ。台本を作ると臆いた時に頭が真っ白になるので、話したい項目だけを頭に叩き込んでスピーチに臨みました。伝えたい想いはしっかり持っていたので、それを無理やり自分の生業に結び付けてお祝いの言葉としたのですが、うまく思いは伝わったかな？？持ち時間は5分だったのですが、あとでビデオを観たらほぼ収まったようでした。コンクールの委員長としてタイムオーバーは何としても避けたかったので、1人密かにガッツポーズ！！

余興では、我々は千原英喜作曲の「どちりなきりしたん V」と、新郎のご協力を頂いて加山雄三の「君といつまでも」を演奏しました。「どちりな」は、新婦が初めて合唱団を見学に来た時に聴いた曲で大好きになったという事でのリクエスト。「君といつまでも」は、新郎が以前ミュージシャンだった事もあって抜群のマイクパフォーマンスを披露して下さり、大いに盛り上がりました。

そして宴の締めくくりは、新婦からお母様への心にジーンとくるお手紙の披露と、新郎からの締めのご挨拶。幸せいっぱいの新郎新婦から沢山の幸せをお裾分けして頂いた、心温まるパーティーでした。末永くお幸せに…。



コールキリエ演奏会の様子(その1)



演奏会で歌う鈴木行団長



コールキリエ演奏会の様子(その2)

カノンコンサートガイド

1/28 (土)	レーベンフロイデ合唱団 第12回コンサート 18:00～ 海老名市文化会館 小ホール 入場料：1,000円（高校生以下無料） お問合せ：佐藤 046-233-4727 miura_hayabusa13@yahoo.co.jp http://leben.ebi-chor.com 美空ひばり作品集 木下牧子「地平線のかなたへ」他 指揮：乾健太郎 ピアノ：花光典子 児山卓史
1/29 (日)	男のコーラス・ドッグウッド コンサート ―熱く愛を歌う― 13:30～ テアトロ・ジューリオ・ショウワ（昭和音楽大学南校舎キャンパス内） 入場料：1,000円（全席自由） お問合せ：オフィス・バルーン 045-901-9914 今年24年目を迎えます。指揮者に青木雅也先生を迎えて10年、愛をテーマにした曲を中心に歌います。
2/11 (土・祝)	日本女子大学附属高等学校コーラスクラブ 第42回定期演奏会 13:00～ 日本女子大学西生田成瀬記念講堂 入場無料 お問合せ：山田：044-952-6711 新川和江作詩 / 土田豊貴作曲 女声合唱とピアノのための「夢のうちそと」他 指揮：丸山恵子 伴奏：目田恭美子他
2/18 (土)	横浜合唱協会 第61回定期演奏会 シュッツとバッハドイツバロック音楽2人の巨匠― 14:00～ 横浜みなとみらいホール 大ホール 入場料：2,000円 学生500円（全席指定） お問合せ：藤井 045-894-3031 (Tel&Fax) ycs_ensoukai@yahoo.co.jp http://www.ycs.gr.jp/ H.シュッツ「宗教的合唱曲」より / J.S.バッハ モテット「イエスよ、わが喜びよ」他 指揮：八尋和美
2/25 (土)	Joyful Joint Cocert 実行委員会 浅野深雪 × 9Chorus Joyful Joint Concert the3rd （女声合唱団藍の会、鎌倉湖畔コーラス、湘南レグルスエコー、日立戸塚合唱団 他5団体） 13:00～ 鎌倉芸術館大ホール 入場料：1,000円 お問合せ：松浦 0467-54-9288 (Tel&Fax) baypine.y@jcom.home.ne.jp 深雪sコーラスネット 浅野先生指導の9つの合唱団が新しい曲、懐かしい曲、外国曲などを9つのハーモニーで演奏いたします。
3/2 (金)	汐見台フラウエンコール 第13回定期演奏会 14:00～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料：1,000円 お問合せ：小代（しょうだい） 045-753-7259 (Tel&Fax) 六つの子供の歌（中田喜直）、スタバト・マーテル、思い出すために、虹と雪のバラード 指揮：岡本俊久 ピアノ：安藤江浪

3/3 (土)	混声合唱団 風雅 第7回演奏会 14:00～ 海老名市文化会館 小ホール 入場料：900 円（全額東日本大震災の義援金といたします） お問合せ：坪 046-232-0731（Tel&Fax） 創立30年を迎え、OB団員をまじえ第1回演奏会で歌った“心の四季”に取り組みます。 合唱団 Rond 第5回演奏会 13:30～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場無料 お問合せ：五十嵐 045-741-6994 http://rondo.dee.cc/ フォーレ「小ミサ」、高田三郎「水のいのち」他 指揮：木村茂雄 ピアノ：池谷眞子
3/4 (土)	グロリア少年合唱団 特別演奏会 14:00～ 鎌倉芸術館 大ホール 入場料：2,000 円 お問合せ：高橋 0467-42-7620 quilya.takahashi@gmail.com http://gbc.jp ハイドン作曲ネルソンミサ他 指揮：松村努 ソプラノ：桜井悦代他 グロリア室内オーケストラ
3/11 (日)	ユース松林・茅ヶ崎市立松林中学校合唱団 ほか 第8回「松林の風コンサート」～その日を忘れない～ 14:30～ 茅ヶ崎市民文化会館 大ホール 入場料：500 円（中学生以下無料） お問合せ：松林の風実行委員会 小林 0467-54-0358 池田 0467-57-5050 今回は奇しくも東日本大震災1年後の日、「大漁歌いこみ」「会津磐梯山」など日本の歌を心を込めて歌います。
3/26 (月)	神奈川県立大和高等学校コーラス部定期演奏会 コンサート TUTTI 9th 18:00～ 海老名市文化会館 入場無料 お問合せ：岡田 046-274-0026 混声合唱組曲「いそがしい空」（金子みすず作詩 岡田宏作曲）を初演予定 「44羽のべにすすめ」「鷗」他
3/30 (金)	神奈川県立多摩高校合唱部 第46回定期演奏会 18:00～ 相模大野グリーンホール 入場無料 お問合せ：小川 044-911-7107 松下耕作曲混声合唱とピアノのための「信じる」等、様々なジャンルの曲を演奏します。是非お越し下さい！ 伊勢原市立成瀬中学校コーラス部 Spring Concert "12 15:00～ 伊勢原市民文化会館 大ホール 入場無料 お問合せ：佐々木 0463-95-1309 http://www.isehara.ed.jp/naruse-j/ 1st Stage：7つのこども歌より抜粋、「薔薇見知らぬ国」より出発 他 2nd Stage：POPS 他
4/7 (土)	クール・コメール 第16回コンサート “f” 14:00～ 茅ヶ崎市民文化会館 小ホール 入場料：1,000 円 お問合せ：沖浦 0467-54-7136 「空とぶうさぎ」「いのちのわけ」他 指揮：吉田孝古磨・斉藤悦子 ピアノ：金子雅代

4/7 (土)	大船混声合唱団 第13回定期演奏会 14:00～ 鎌倉芸術館 大ホール 入場料：1,000円（中高生 500円）（全席自由） お問合せ：後平 0467-44-3739 ジョン・ラター編曲の黒人霊歌を、ゲストに栗林朋子を招いて演奏します。
4/15 (日)	JOYシンガーズ 4th Concert 14:00～ 横浜みなとみらいホール 小ホール 入場料：1,000円（全席自由） お問合せ：飯野 045-543-3008（Tel&Fax） レモンの車輪、C. ロセッティの4つの歌、フランス歌曲集、ディズニー映画曲集 ぜひ！おいで下さい。
4/28 (土)	ぐるーぷ“音の輪”&コール・ムッテル Joint Concert X ～ありがとう 歌と共にある日々～ 13:00～ ハーモニーホール座間 大ホール 入場料：1,000円（中高生 500円） お問合せ：八代 046-253-3262 島崎 046-251-1054 ジュピター、手紙、ありがとう、マンマミーアよりダンシングクイーン他、コーラスラインよりワン他

湘南フィルハーモニー合唱団

松村 努 指揮

MENDELSSOHN

オラトリオ「聖パウロ」

メンデルスゾーンならではの瑞々しい音楽をご一緒に！

合唱団員募集

演奏会 2012年10月20日（土）3：30PM開演予定

会場 すみだトリフォニーホール

独唱 ソプラノ 朴 瑛実 アルト 谷地畝晶子

テノール 望月 哲也 バリトン 福島 明也

合唱 湘南フィルハーモニー合唱団

上記演奏会に参加される団員を募集しています。

連絡先 ホームページ <http://sho-phil.com/>

電話 045-984-3371 鈴木 0467-52-3580 柏木

● 県連では下記の行事を開催いたします。是非お出かけください！ ●

♪第35回神奈川県合唱フェスティバル

平成24年2月11日(土・祝)14:00開演(予定)

県立音楽堂 入場無料(要入場整理券:当日先着100枚程度配布予定)

♪第14回かながわヴォーカルアンサンブルコンテスト

平成24年3月11日(日)10:30開演(予定)

県立音楽堂 入場料:1,000円(18歳以下無料)

♪第34回神奈川県ジュニア合唱祭

平成24年4月1日(日)13:00開演(予定)

県立音楽堂 入場無料

各行事とも詳細は神奈川県合唱連盟事務局へ

● TEL.045-681-6033 スタッフ常駐・毎週月～金(12:00～16:00) ●



全日本合唱コンクール課題曲集予約申込及び販売のお知らせ

平成24年度合唱コンクール課題曲集(合唱名曲シリーズNo.41)の予約を受け付けます。
1月31日(火)までに申し込まれますと早くお手元に届き、30冊以上申し込まれると版元より直送され、送料も無料になります。3月中旬から県連事務所でも販売いたします。

「合唱名曲シリーズNo.41(平成24年度全日本合唱コンクール課題曲集)」

価格/定価：1,000円(消費税込み) 発行日/平成24年3月10日(予定)

【曲目一覧】 G(混声 General) M(男声 Männer) F(女声 Frauen)

- | | | |
|---------------------------------|-------------------------|--|
| G1 | Ego sum panis vivus | Giovanni Pierluigi da Palestrina 曲 |
| G2 | Sing Lullaby | Frederick William Harvey 詩/ Herbert Howells 曲 |
| G3 | 鳥のように栗鼠のように(「無声慟哭」から) | 宮沢賢治 詩/ 林 光 曲 |
| G4 | 受付(「さよなら、ロレンス」から) | 四元康祐 詩/ 森山至貴 曲 |
| (平成23年度合唱組曲作品公募入選作品《第22回朝日作曲賞》) | | |
| M1 | O magnum mysterium | CristObal de Morales 曲 |
| M2 | Linden Lea | William Barnes 詩/ Ralph Vaughan Williams 曲/ Julius Harrison 編曲 |
| M3 | 松の針(「永訣の朝」から) | 宮沢賢治 詩/ 西村 朗 曲 |
| M4 | はらへたまつていく かなしみ(「秋の瞳」から) | 八木重吉 詩/ 松下 耕 曲 |
| F1 | In black mourn I | Thomas Weelkes 曲 |
| F2 | Dirge and Hymeneal | Thomas Lovell Beddoes 詩/ Gustav Holst 曲 |
| F3 | 天使(「やさしい魚」から) | 川崎 洋 詩/ 新実徳英 |
| F4 | 無門(「約束」から) | 淵上毛銭 詩/ 瑞慶覧尚子 曲 |

※各声部の2曲目のテーマは「イギリス音楽」

※G4、M3、F2、F3はピアノ伴奏。

※G1、M1はラテン語。G2、M2、F1、F2は英語。



ー県連からのお知らせー

＜東日本大震災に伴う義援金募集について＞

総会でも通知いたしました通り、先般発生いたしました東日本大震災に対し、神奈川県合唱連盟として被災地及び被災された方々への支援の一環として、4月以降の県連各行事における募金箱の設置による募金の呼びかけを行いました。同時に、神奈川県合唱連盟が窓口となり、各団体・個人からの義援金の受付も実施いたしました。その結果以下の団体、個人の皆様より暖かいご支援を頂きました。この場を借りて御礼を申し上げます。いただきました義援金につきましては、少しでも早く現地で活用していただこうと、現在までに5/24、6/29、8/31、9/28の4回寄付を朝日新聞厚生文化事業団に行いました(1,912,116円)。また当活動につきましては、今後とも継続して募集しておりますので、合唱連盟経由での寄付をご希望される団体、個人の方は引き続き以下の口座までお届けいただきますよう、よろしくお願いいたします。

【郵便振込】口座記号：00200-8-100874 加入者名：神奈川県合唱連盟

※領収書の発行はできません。また義援金への募金は税法上の寄付控除の対象とはなりませんのでご注意下さい。

～義援金をお寄せいただいた団体・個人の皆様～ (12/18現在(秋号でのご報告以降)：全8団体：振り込み順)
Chorus Crew、アンサンブル ミルフィーユ、金沢少年少女合唱団、Chor Muse et Lys
金沢少年少女合唱団まぎず、Trinity、平塚合唱連盟とおんきごう、rêver

☆コンサートガイド掲載要綱☆

神奈川県合唱連盟に所属していれば、この「カノン」にコンサートのお知らせを掲載することができます。掲載方法は「無料掲載」と「有料掲載」があります。それぞれ、必要事項を記したものを郵送かFAXまたはe-mailにて編集室までお申し込みください。ただし、無料掲載は1演奏会につき一度だけとさせていただきます。なお、有料掲載と無料掲載の両方を希望する場合は、それぞれ個別にお申し込みください。

また有料掲載につきましては、神奈川県合唱連盟に所属していない団体からも掲載を受け付けることが可能です。その場合の料金に関しては、下記掲載料の倍額とさせていただきます。

- 1 無料掲載：①合唱団名 ②演奏会名称 ③開催日時 ④会場 ⑤入場料等 ⑥問い合わせ連絡先(Tel / Fax / e-mail / HPの記載可) ⑦コメント(50字以内)を掲載いたします。
- 2 有料掲載：1/8\$-2,500円(1/4\$-5,000円、1/2\$-10,000円、1\$-20,000円)での有料掲載を行います。内容は基本的に自由ですが、事務局がカノンに掲載することがふさわしくないと判断したものについてはお断りすることがあります。希望するサイズでの出力見本(手書き可)をメール、FAX等で送っていただき、各合唱団が作成した原稿をそのまま掲載するか、原稿案を元に事務局で作成いたします。

※カノン発行月と原稿締め切りの予定：春号 4月10日発行予定(〆切：2月10日) 夏号 7月10日発行予定(〆切：5月10日) 秋号 10月10日発行予定(〆切：8月10日) 冬号 1月10日発行予定(〆切：11月10日)

＜取材希望団体募集＞「かながわの合唱団を訪ねて」のコーナーでは、取材を希望する合唱団を募集しています。希望団体は県連事務局にご連絡下さい。スタッフが取材いたします。

＜編集後記＞コンクール全国大会で青森に行き、その後人生初の青函トンネルを抜けて函館へ。その後北海道を縦断して帰ってきました。予想外の雪に埋もれながら楽しいひと時を過ごしました。が、帰宅後数日すると重度の風邪にかかりました。1か月経った今でも完治していません。今年の風邪はノドの腫れと咳がひどいので合唱の大敵です。皆さん気をつけて下さいね。(編集長：K)

神奈川県合唱連盟 情報誌「Kanon(カノン)」

編集・発行 神奈川県合唱連盟・カノン編集委員会

発行責任者 田中登志生 編集責任者 栗林宏至

神奈川県合唱連盟・事務局

〒231-0021

横浜市中区日本大通 15 横浜朝日会館 4 階

TEL：045-681-6033 FAX：045-662-5119

スタッフ常駐・毎週月～金(休祝日を除く) 12:00～16:00

ホームページ URL <http://kanagawakenren.la.coocan.jp/>

e-mail アドレス kanagawakenren@nifty.com

